

栃木県庁働き方改革プロジェクト

令和2(2020)年4月22日
経営管理部



働き方改革

平成29(2017)年度から取り組んでいる「栃木県庁働き方改革プロジェクト」については、令和2(2020)年度も、「仕事の選択と集中」「プロセスの効率化」「労働時間の管理」を3本の柱とし、引き続き労働生産性の向上に取り組みます。

1 仕事の選択と集中

2 プロセスの効率化

3 労働時間の管理

BCPの実効性向上

- 業務の優先順位付けの徹底
- 業務の見直し(計画のスリム化等)

ICTの利活用拡大による業務の効率化

- RPA導入対象業務の拡大
- タブレット端末による現地調査等の省力化・効率化
- ペーパーレスの推進
(ペーパーレス会議進行システムの導入、行政手続のオンライン化推進)
- 音声データから自動で議事録を作成するシステムの導入
- デジタルマーケティングの活用推進

- 管理職への研修
(職員の働き方に対する意識改革)
- PC起動時間配信システムの運用検討
- テレワーク(在宅勤務・モバイルワーク)の推進 ⇒ **柔軟な働き方の実現**

特定テーマの見直し

- イベント、コンクール・コンテストの廃止、縮小・統合
- 各種計画のスリム化

- 内部監査業務の一元化

- RPA実証実験、タブレット端末試行導入
- 事務用消耗品の調達・管理の一元化(本庁「常用物品」)
- データ集計業務(官公需契約調査等)の省力化・効率化

- 文書作成ソフトの一元化

- 消灯時間の一部前倒し(本庁舎)
- サテライトオフィスの設置(本庁舎)
- 所属単位で取組方針を作成、好事例を周知

庁内アンケート・ワーキンググループ→「プロセスの効率化に向けた改善方針」策定

管理

- 内部意思決定プロセスの効率化

事業

- 本庁・出先の権限と人員配分見直し
- ICTの活用による省力化・効率化

共通

- 文書事務の改善(5S)
- 会議の改善(ワンベスト)

とちぎスイッチ！2

- 22時完全消灯(20時までに退庁を基本)
- 入退庁記録、PC起動状況のモニタリング

とちぎスイッチ！

- 働き方改革推進強化月間(7・8月)20時退庁

ステージII

2020

2019

2018

ステージI

2017